



IWAMI CHISUIKAN HIGH SCHOOL IWAMI CHISUIKAN HIGH SCHOOL IWAMI

## 平成 29 年度 3 学期 1 年部人権・同和教育特別授業レポート

今年度3学期の特別授業は、東先生が担当されて、「人のことを考えて行動することの大切さ」について学びました。事前の検討会では杉原千畝のエピソードから、彼を理解し支えた家族の思いからの学びを検討しましたが、もっと幅を広げ、今の智翠館高等学校での生徒たちの生活の実態とリンクさせて考えを深めたほうがいいとの意見を受けて見直しをし、杉原千畝の話、アフリカでの飢餓貧困の実態、先進国での食べ残しや期限切れ食品の大量廃棄の問題など、他者を意識して正しい行動ができているか、生徒一人一人の心に訴えかける授業を展開しました。まず東先生から全体に対してスライドを用いて説明をし、あとは各クラスに分かれて検討しました。担当された東先生、お疲れさまでした。



IN EXTREMIS: A million southern Sudanese face starvation. Here, a child falters en route to a feeding center while a vulture hovers.

## 研修から学んだこと・感想・・・

第三者の視点から見たときには「次の人のために」など、人のことを考えることができるけど、それが自分のこととなると意外と人のことを考えられていない面があることがわかりました。

自分で思ったり、口に出すのは簡単であるけど、実際に行動に移すことの難しさに気づくことができた。

トイレのスリッパで、今までは人のことを考えずにそろえていなかったが、今では後の人のことを考えてそろえるようになった。

うちの寮のごみ箱の写真とか、あらためて見たり、他の人の意見を聞いてみたら、自分もしっかりしなくてはいけないと思った。

食堂のご飯を残したり、水道をずっと使ったりしてたので、人のことを考えていなかったと思う。

以前、寮の掃除のときにゴミ担当で、ペットボトルのごみ箱を片付けるときに、ちゃんとゴミ袋の中に入れていないうえに、ペットボトルの中身が少し残っていたので、処理するときにすごく嫌でした。でもそういうのって、(ゴミを捨てるときに)きちんと袋の中に入っているか、ちょっと確認するだけで変わります。(自分も)そういうふうにもっと相手のことを考えていけたらいいと思います。

最後に映った(本校の)食堂のゴミ箱がとても印象に残った。なぜかという、(たくさんの食べ残しが残飯として捨てられている写真を見て)食堂で働いてくださっている人たちが見たら悲しむと思ったから。

人間らしい行動が、杉原さんのムービーを通してわかりました。私はナチスやヒトラーの行ったことが結構わかっているから、杉原さんの「こんな世界を見たくない」「何とかしないと」「こんなところに座っている場合じゃない」という焦りや恐怖など、いろいろな気持ちを感じました。

高い理想としては、杉原さんのような人になることだけど、自分のした行動をだれが見ても「間違っていない」と言ってもらえるような生活をしたいです。一つの事に対して、自分が正しいと思える意見を持ち、他の人の意見も尊重しながら比較したいです。

杉原さんの決断はすごいと思いました。自分が決断を今すぐ(してください!)と言われたら、できないと思うけど、いつか杉原さんみたいに、自分より人のことを考え、行動できる人になりたいと思いました。自分を守りたいと、ついつい思ってしまうがちだけど、他の人が今どうなのか、自分が何をしたらその人が良い方向に行くのかなどを考えていきたいです。

みんなが共同で使う道具や資材などを、使ったら元の場所に戻すように、そして次の人が使いやすいように気を付けることを心掛けている。